

指定管理者運営評価シート

年度	平成28年度
所管課	協働推進課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市市民活動プラザ
所在地	佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商ビル7階
施設概要	(1)施設の目的 市民活動の推進を図るため、市民団体の活動を支援するとともに、市民団体・行政・企業の連携の場とするための拠点施設として活用している。 (2)施設の内容 市民活動プラザ 【7階】小会議室2室、中会議室3室、プラザ事務所、活動共同スペース、ワーキングルーム、相談コーナー、情報コーナー、ミーティングフロア、親子交流サロン、レターケース、ロッカー 【4階】小会議室1室、大会議室1室

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人佐賀県CSO推進機構	指定期間	開始日	平成26年4月1日
	所在地	佐賀市呉服元町2番24号 呉服元町ビル10号		終了日	平成29年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	仕様書に記載されている以下の業務を問題なく実施した。 (1)市民活動プラザの運営の基本方針 ①市民活動の実践者等に対し、活動等の場として施設の提供を行う。 ②市民団体・行政・企業の協働・連携の場の拠点として機能する。 ③市民活動の実践者等に対する様々な支援のための事業が円滑に行われるよう協力する。 (2)市民活動事業に関する業務の基準 ①相談支援業務 ②情報収集・発信業務 (3)施設の運営に関する業務の基準 ①市民及び市民活動のための施設の提供運営 ②施設利用促進に関する業務
②施設の維持管理業務	仕様書に記載されている以下の業務を問題なく実施した。 (1)施設の管理に関する業務の基準 ①保守管理業務 a) 建築物・建築設備の点検確認管理 b) 備品・消耗品等の管理 ②環境維持管理業務 a) 清掃業務 b) 施設保全業務
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	市民活動の活性化のために各種市民活動の支援のための自主事業を実施した。 (1)利用者、市民活動団体へのサービス提供(文具貸出、パソコン・イーゼル等の貸出など) (2)施設利用促進事業 ①障がい児と家族の花火観賞会 (3)市民活動団体スキルアップ講習会 ①助成金セミナー (4)協働の推進 ①協働に関するDVDの放映、市民活動団体PRのためのCM作成・放映 (5)その他 ①チラシ作成講座の開催

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	年度	年度
①市民活動プラザ利用者数	人	56,714	58,699	67,203		
②会議室利用率	%	49.4	47.2	48.0		
③利用登録団体数	団体	1,233	1,293	1,357		
④						
⑤						

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
(1)「市民活動プラザ」利用者アンケート 2回実施 (2)利用者意見交換会(いどばたかいぎ) 10回実施 (3)その他意見交換会 4回実施 (3)市民活動団体の活動状況に関するアンケート(市) 1回実施	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
佐賀市内で活動している団体を紹介してほしい。 活動に必要な資金の調達方法について相談したい。	相談支援窓口を強化し、市民活動団体からの様々な相談に対応している。(相談件数:前年度比 180.5%)
案内表示がわかりにくい、チラシ・ポスターなどの情報提供を充実してほしい。	4階、7階エレベーター前に掲示板を設置し、案内表示やポスターの掲示をわかりやすくした。 また、掲示板の整理、メールマガジンの定期的な配信を行った。
駐車場が狭い、料金が高い。	市単独の建物ではないため、駐車場を増やす、駐車料金の変更等の対応は難しい。

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	26年度決算	27年度決算	28年度決算	年度決算	年度決算
指定管理料	14,400	14,400	14,400		
うち修繕費	0	16	73		
うち備品費	0	5	23		
うち光熱水費					
摘要(補足説明等)					

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	26年度決算	27年度決算	28年度決算	年度決算	年度決算
使用料					
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
合計	0	0	0		
摘要(補足説明等)					

7 指定管理者の自己評価

佐賀商ビルに移転してきた初年度は周知がなかなか進まず課題となっていたが、3年間をかけて新たな来館者も増えフロアの賑わいも出てきた。これからも、多くの市民に「市民活動プラザ」を知ってもらい、誰もが気軽にボランティアやサークルなどに興味を持って来館してもらえる仕掛けが必要だと考えている。中間支援組織としての協働の推進については、少しずつだが団体や企業、団体と行政、団体同士などのつながりができてきた。これからもたくさんのお出合いを創出できるようにすすめる。相談支援、情報収集・発信については、相談件数も伸びてきた。気軽に相談できる体制が出来つつあると感じている。情報の発信については、定期的な発信が定着してきて、受信される団体からも「助成金情報」は喜ばれている。もっと役に立てる情報発信のために情報収集に努力したいと考えている。

8 市による指定管理者の評価

アイスクエアビルから佐賀商ビルに移転し、まずは安定した施設の運営を目標に、指定管理を実施してきた。この3年間で以前のアイスクエアビルにあった市民活動センターでの利用者数や会議室の利用率と同水準か、それ以上の実績があげられていることは成果である。また、これまで継続した課題であった、中間支援組織の専門性を活かした施設運営に関しても、最終年度に入り充実した取り組みが見られるようになってきている。一方で、指定管理も3年目となり、業務が定型化して日々の繰り返しのようになってきたため、再度、組織内で、課題を共有し、すすむべき方向性をスタッフ間で共有した上で、次の指定管理につなげてほしい。